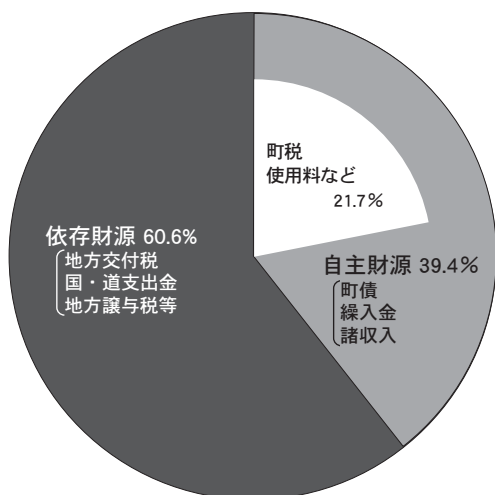


歳入 一般会計107億2,249万円(前年比7.7%減) 自主財源比率39.4%(前年比0.8増)



町の一般会計の歳入は107億2,249万円でした。平成19年度に比べて災害復旧事業や公営住宅整備事業の減少に伴って国・道支出金及び町債が減少したため約9億円(7.7%)の減額となりました。

その内訳は地方交付税や国庫支出金など、国や道に頼った依存財源が60.6%、町税や使用料などの自主財源が39.4%となっています。しかし、自主財源には全体の9.3%(約9億9,000万円)にあたる町債(借金)や基金(預金)の取り崩しが含まれているため、実際の町税や使用料などの収入は21.7%で全体の2割程度しかありません。



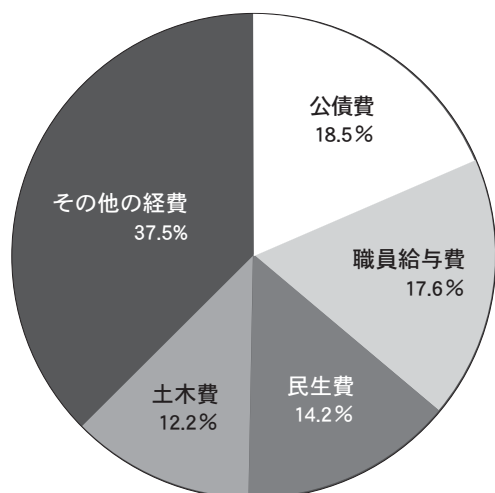
区 分	決 算 額	構成比
町 税	16億612万円	15.0%
地 方 譲 与 税 等	3億7,858万円	3.5%
地 方 交 付 税	49億5,682万円	46.2%
分 担 金 及 び 負 担 金	9,967万円	0.9%
使 用 料 及 び 手 数 料	3億1,294万円	2.9%
国 ・ 道 支 出 金	11億6,653万円	10.9%
財 産 収 入	6,661万円	0.6%
寄 附 金	6,205万円	0.6%
繰 入 金	2億2,505万円	2.1%
繰 越 金	1億7,877万円	1.7%
諸 収 入	6億7,685万円	6.3%
町 債	9億9,250万円	9.3%
合 計	107億2,249万円	100.0%

平成20年度版 決算

歳出 一般会計104億6,903万円(前年比8.5%減) 公債費に19億3,379万円を充てる(前年比2.4%増)



平成20年度に町が支出した一般会計の総額は104億6,903万円でした。このうち借金返済のための公債費が19億3,379万円(18.5%)で最も多く、続いて職員給与費18億4,509万円(17.6%)で、この2つが歳出の1/3以上を占めています。平成20年度の主な事業は、公営住宅整備事業(約2億7,600万円)、定額給付金支給事業(約2億800万円)、平成20年災害復旧事業(1億9,800万円)、庫富幾千世1号線整備事業(約8,200万円)となっています。



区 分	決 算 額	構成比
議 会 費	7,968万円	0.8%
総 務 費	10億9,152万円	10.4%
民 生 費	14億9,138万円	14.2%
衛 生 費	7億6,112万円	7.3%
労 働 費	1,567万円	0.1%
農 林 水 産 業 費	3億8,506万円	3.7%
商 工 費	1億8,420万円	1.8%
土 木 費	12億7,564万円	12.2%
消 防 費	5億6,272万円	5.4%
教 育 費	5億9,929万円	5.7%
災 害 復 旧 費	2億4,387万円	2.3%
公 債 費	19億3,379万円	18.5%
職 員 給 与 費	18億4,509万円	17.6%
合 計	104億6,903万円	100.0%

地方債と基金

借金残高は236億1,666万円で一人あたり約169万円
 預金残高は12億119万円で一人あたり約9万円



平成20年度の一般会計の地方債返済額は19億3,379万円で、前年度と比べると2.4%(4,617万円)の増となり、決算額に占める返済額の割合は18.5%でした。地方債残高は前年度から約6億8,700万円減少し、141億7,383万円となりました。日高町の場合、地方債残高の約50%が交付税措置されますが財政負担には変わりありません。

また、法律や条例によって設置される「基金」は、特定の目的に利用することができ、全会計では16の基金が設置されています。平成20年度末残高は前年度から約1億5,000万円増え、12億119万円となっています。このうち合併特例債を借りて積立した地域振興基金は約6億3,300万円です。

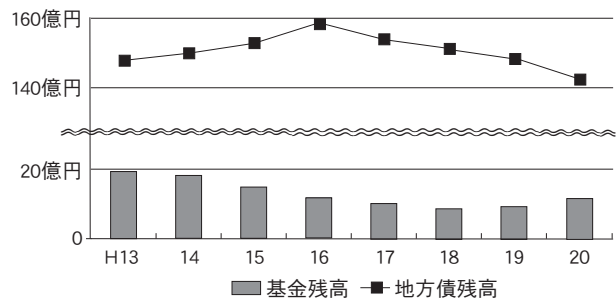
■地方債残高

区 分	平成20年度末残高
一 般 会 計	141億7,383万円
簡 易 水 道 会 計	4億4,943万円
下 水 道 会 計	53億3,370万円
介護老人保健施設会計	7億70万円
水道事業会計	11億2,034万円
国民健康保険病院事業会計	18億3,866万円
合 計	236億1,666万円

■基金残高

区 分	平成20年度末残高
財政調整基金	2億5,790万円
減債基金	1,004万円
その他基金	9億3,325万円
合 計	12億119万円

一般会計の基金と地方債の推移



11月5日臨時議会において、平成20年度の町の決算が議会で認定されました。合併3年目となった平成20年度は、燃料単価の乱高下、アメリカを発端とした世界同時不況により、景気は最悪の状況となりました。町の財政運営も不況の煽りを受けましたが、財政の健全化に留意しつつ、国の経済対策事業などの執行に努めました。

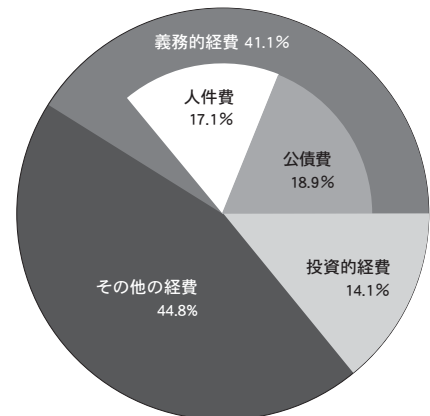
家計

町の財政を家計簿に例えると、年間の収入は344万円、支出は335万円



家庭の収支と町の財政は、お金の使い道や規模が違うため、単純に比較はできませんが、一般会計から介護サービス事業(老人ホームなど)の経費を除いた財政運営の基本的な経費を家計簿に例えてみました。

収 入		支 出	
給料		食費	
町税	53万5千円	人件費	57万5千円
パート・アルバイト収入		医療費	
使用料、手数料など	29万7千円	医療助成などの扶助費	17万1千円
親からの援助金		光熱水費	
国・道からの補助金や 地方交付税など*	216万7千円	物件費、補助金など	85万6千円
銀行からの借金		車などの修理代	
町債	30万9千円	施設の維持補修費	3万1千円
預金の取崩し	7万5千円	子供への仕送り	
前年度からの繰越金	6万円	特別会計・企業会計への補助	50万9千円
		借金の返済	
		公債費	63万6千円
		預金	
		基金の積立	10万8千円
		家の増改築・改修	
		建設事業・災害復旧	47万3千円
合 計	344万3千円	合 計	335万9千円
預金の残高	36万5千円	借金の残高	471万1千円



※ 地方交付税は町税と同じような地方固有の収入ですが、国がいったん集めて、自治体の財政状況に応じて配分されるため、「親からの仕送り」に区分しています。

※ 3,000倍にすると一般会計の決算額になります。

特別会計

特別会計の総支出は50億4,256万円、前年比8億5千万円(14.5%)の減



特定の事業を行うために一般会計と区分して設置されている特別会計は、すべての会計が黒字となりました。下水道事業会計は前年度に比べ大きく増加していますが、町債の借換えに伴う繰上償還によるものです。

会計名	歳入	歳出	差引残額	歳出対前年比
国民健康保険	17億8,439万円	17億3,171万円	5,268万円	▲ 14.2%
老人保健	1億8,394万円	1億8,272万円	122万円	▲ 89.1%
後期高齢者医療	1億3,544万円	1億3,448万円	96万円	皆増
介護保険	10億2,861万円	10億2,083万円	778万円	5.3%
介護老人保健施設	2億6,550万円	2億6,531万円	19万円	3.2%
簡易水道	1億281万円	1億159万円	122万円	▲ 13.4%
下水道	16億592万円	16億592万円	0万円	87.1%
合計	51億661万円	50億4,256万円	6,405万円	▲ 14.5%

企業会計

国民健康保険会計は3年連続の赤字、累積赤字は4億円に



水道会計は黒字となりました。国民健康保険病院会計は、前年度と比べ約2,500万円の増収となりましたが、約5,800万円の赤字となりました。

会計名	損益勘定			未処分利益剰余金 (-繰越欠損金)	利益剰余金 未処理欠損金
	収入	支出	差引		
水道	3億4,276万円	3億2,442万円	1,834万円	1,834万円	2億6,745万円
国民健康保険病院	11億8,887万円	12億4,712万円	▲ 5,825万円	▲ 3億4,916万円	▲ 4億741万円

財政指標

実質公債費比率20.2%は全道で43番目
将来負担比率141.7%は管内で最も高い数値に



平成20年度決算に基づく日高町の実質公債費比率と将来負担比率は、いずれも早期健全化基準を下回り概ね健全な財政状況といえますが、実質公債費比率の数値が比較的高く、全道で43番目に高い数値となっていますので今後は公債費負担適正化計画に基づき起債発行を抑える努力が必要です。

また、将来負担比率については、概ね良好な数値といえますが、将来の負担を減少するよう計画的な財政運営が必要です。

指標名	日高町数値	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率*	-	11.25~15.00	20.00
連結赤字比率*	-	16.25~20.00	40.00
実質公債費比率	20.2	25.0	35.0
将来負担比率	141.7	350.0	-

※日高町は黒字であるため、数値は表示されません。

用語解説

- 実質赤字比率
一般会計等の実質赤字の比率
- 連結赤字比率
すべての会計の実質赤字の比率
- 実質公債費比率
公債費と公債費に準じた経費の比重(3ヵ年平均)
- 将来負担比率
地方債残高など一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の比率

日高支庁管内の状況

実質公債費比率

順位	町名	数値	道内順位
1	様似町	21.5	29
2	新ひだか町	20.6	39
3	平取町	20.3	42
4	日高町	20.2	43
5	新冠町	19.9	44
6	浦河町	18.3	58
7	えりも町	16.5	80

将来負担比率

順位	町名	数値	道内順位
1	日高町	141.7	46
2	浦河町	140.6	50
3	えりも町	116.0	75
4	新ひだか町	110.7	80
5	様似町	104.0	85
6	新冠町	103.7	86
7	平取町	38.8	139

一問合せ先

企画財政課企画財政グループ
TEL 01456-2-6181
FAX 01456-2-5615